

団体情報	
団体番号	2
団体名	島根大学吹奏楽部
所属人数（前年度）	63名

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。 音楽、特に吹奏楽が好きな人たちが、楽器に触れ、練習の成果を発表する場を設けるため。また、演奏会や訪問演奏を通して、地域の方が音楽に触れる機会を増やし、地域のつながりを強めるため。
	活動内容	1. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 「結」というスローガンのもと、コンクールに実を結ぶような練習をすること、お客さんと心を結ぶ演奏を目指して活動してきました。練習の日程や練習の仕方を見直し、学年問わず意見を出し合えるようにすることで、演奏のクオリティの向上を図りました。主に夏休みの期間には、各々の実力をつけるとともに、地域の人々に音楽に触れてもらう機会を増やすために、アンサンブルのチームを組み、地域の訪問演奏に出向きました。また、6月には大学会館で、12月にはプラバホールで演奏会を開催しました。入場無料で、普段吹奏楽の演奏を聴かない人にも楽しんでもらえるような選曲と演出も行いました。 ②社会や地域貢献活動 先述したように主に夏休みの期間には、アンサンブルのチームを組み、地域の訪問演奏へ出向きました。保育園や幼稚園に多く出向き、リアルな楽器や音楽に触れる機会を提供しました。また、6月と12月の演奏会では、より気軽に多くの人に来場してもらえるよう、入場無料・予約不要の上、バスや新聞での広報活動に力を入れました。また、島根大学SDGsユニットとして認定式に参加し、活動成果を発表しました。 ③その他アピールできること 毎年、中・四国国立大学合同演奏会・美術展覧会（通称：音美）に参加し、学校や団体の垣根を越えたつながりを持っています。さらに、前年度は島根県開催だったため、主催団体として各団体と連絡を取り合い、演奏会のスムーズな開催を心掛けました。その際、部員一人ひとりがそれぞれの役割を持ち、運営スタッフとして演奏会の運営に携わりました。また、12月に行った定期演奏会では、例年以上に企画ステージに力を入れました。お客さんにも楽しんでもらえるよう、お客さん参加型のプログラムを取り入れたり、普段吹奏楽になじみがない方でも楽しめる選曲を意識しました。その結果、来場者アンケートでは、選曲や企画ステージに対する好意的な意見を多くいただくことができました。
活動報告	活動内容	 

			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥1,309,000	
		入部(会)金	¥0	0円／人（年額）
		部(会)費	¥2,338,000	46760円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥32,000	
		活動・イベント収入	¥190,000	
		寄付金	¥15,000	
		スポンサー収入	¥0	
		その他	¥178,000	臨時徴収・収入
		収入合計	¥4,062,000	
	支出	備品等購入費	¥514,091	楽器修理・楽譜代等込み
		施設等利用料	¥0	
		大会等参加費	¥1,486,105	遠征・宿泊費等込み
		広報活動費	¥0	
		交際費	¥0	
		交通費	¥0	
		その他	¥758,397	定期演奏会費
		支出合計	¥2,758,593	
	差引収支		¥1,303,407	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望事項※	大学に対する支援や要望	BOX棟の老朽化に不安がある。地震等が発生した場合、部員や楽器の安全の確保が難しいと思われる。また、建物の構造上、エアコンの設置が難しく、夏場・冬場の部員の体調管理に限界を感じます。また、全体的に学校の楽器について、購入からの年数が経っており、修理が必要と思われるものもあります。修理費を部で賄うのは難しい場合もあるため、その都度大学側にも相談したいと考えているため、対応していただけると幸いです。
	学外の団体等への要望	

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。